

11 危機管理・大規模災害対策特別委員会における村岡正嗣県議の質疑

2017年7月5日

Q. 村岡委員

を進めていく。

- 1 平成25年9月の越谷竜巻を経験したが、医療ボランティアが自治会館に救護所を設置しており、とても役立っていた。市長にこの話を伝えると医師会にも伝えるとのことであった。避難所に対しては多くの支援がされると思うが、避難所外の医療ボランティアとの連携について、県としてどう進めていくのか。
- 2 災害時要援護者にとってのトイレ対策をどうするのか。

A. 消防防災課長

- 1 避難所における医療ボランティアについては、避難所運営マニュアルで対応しているが、避難所外については保健医療部と連携して対応していく。
- 2 トイレはしっかり備蓄することはもちろんのこと、男女別のトイレや授乳室の設置など、女性に対する幅広い配慮をしていきたい。

Q. 村岡委員

- 1 医療ボランティアの件については保健医療部と検討した内容を委員会で報告してほしい。
(要望)
- 2 兵庫県ではトイレ対策検討委員会を設置してマニュアルを策定している。県でも検討委員会を作るなどして対応を進めてほしいがどうか。

A. 消防防災課長

- 2 避難所のトイレの件については、どのような形となるかは分からないが、しっかり検討